



CUSTOMER CASE STUDY

SMR

“ We need consistent quality processes across our global company and QAD QMS delivered.”

Christophe Sib, Director, Global ERP and Quality Management Systems, SMR

“グローバルに広がる組織全体に
統一された品質管理プロセスが必要で
QADがそれを提供してくれました”

SMR社 グローバルERP & クオリティマネジメントシステム
ディレクター Christophe Sib





QAD QMSが組織全体に行き渡る クオリティコントロールを可能に

企業: SMR社

Samvardhana Motherson Reflectec(SMR)は、サイドミラー製造大手の一つで乗用車用ミラー市場で生産量世界シェア24%を誇っています。

HIGHLIGHTS

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 会社 | SMR社 |
| 本社 | ドイツ、シュトゥットガルト |
| 業界 | 自動車 |
| 製品 | サイドミラー カメラセンサーシステム |
| ソリューション | QAD Quality Management System (QMS) |



さらにSMRはカメラを利用したセンサーシステムでも自動車業界屈指の存在です。

世界レベルの開発技術を持つグローバル企業としてSMRは、北米、ヨーロッパ、アジア、オーストラリアに非常に先進的な工場施設を保有しています。世界各地5つの大陸にまたがり点在するデザインセンターや生産工場、代表事務所などのグローバルネットワークにより、全世界の自動車産業の80%以上に何らかのSMRの業務がかかわっているとされています。

9,300名以上の従業員を抱え2015/16年度の売上は14億ユーロ(日本円で約1800億円)に上ります。

SMRはSamvardhana Motherson グループ(SMG)の一員でその製品の多様性を背景に工場機械の据え付け、試作設計、デザイン、組み立て、生産までのすべてのソリューションを自動車業界に提供しており、SMGは世界で最も大きい自動車部品サプライヤTop40にも名を連ねています。

SMRは地理的な拡大を図り、各地の成長著しいマーケットでの生産力を向上するという明確な戦略を持っていました。SMGのノウハウやリソースに支えられ、SMRは世界中どこでもフルスペックの生産工場を非常に短期間で建てるのが可能となっていました。





NON-CONFORMANCES

NOW OFTEN
CLOSED IN

1-2 WEEKS

COMPARED
TO

2 MONTHS

経営課題: グローバルで統一性を持った クオリティマネジメントシステムの必要性

SMRは世界各地どこでも機能するクオリティマネジメントシステム(QMS)を必要としていました。また、それはサプライヤと顧客の両方に対して確かな利益をもたらすと同時にQAD ERPとインテグレートできるものが良いと考えていました。

“組織全体でQMSを活用するのは私たちにとって非常に重要で、安定した品質で高品質な製品をお客様に届けることは、私たちの業界、ビジネスの根幹にかかわる部分です。”

とグローバルERP&QMSディレクターChristophe Sibさんは言います。

SMRが追い求めたソリューションは…

- 顧客要望、業界水準、法規制などすべてを満たすための標準化されたプロセスを持つ
- それぞれのグローバル拠点に短期間で導入可能かつ確立された品質管理プロセスを組織全体に行き渡らせることができる

- 一度の入力で確実にその情報を組織全体に共有することができる
- 書類やエクセルシート、PDF、紙のレポート等を人間が管理するという業務をなくすことができる

“きちんとしたQMSシステムを導入していないと、各拠点とコミュニケーション不足に陥り、結果として時間もリソースも無駄になってしまいます”とChristopheさんは続けます

“例えば、私たちのハンガリー拠点では、すでにメキシコ拠点で解決済みの問題が起きてしまっていました。情報が組織全体で共有されていないため、ハンガリー拠点は、すでにソリューションが用意されている課題解決のために無駄なリソースを費やしてしまっていて、その時、私たちには集約型のQMSが必要だと思いました”

ソリューション: QAD QMSチームが2段階 のSMR QMS導入計画を策定、グローバル で導入へ…

“私たちは、QADの力を信じていましたので、21カ所すべての拠点でのQAD QMS導入を決定しました”

“何年もQADを使ってきたので、QADの顧客要望や情報提供への対応の良さははじめからわかっていました”

世界中、各拠点のSMRの品質管理責任者がイギリスに集まり、QAD QMS チームと一週間の

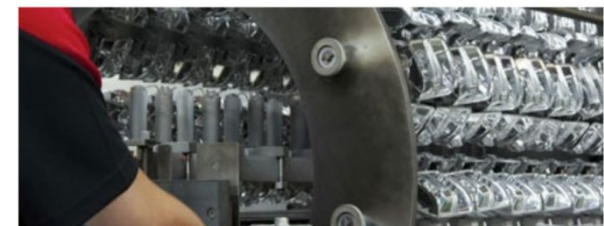
ワークショップを実施し、一緒にSMRに必要な機能と実現可能な導入までの期間の設定を行いました。

その後、QAD QMSチームは2段階の導入計画を策定し、フェーズ1として各拠点で3週間のコアモデルのインストレーションプロセスからスタートしました。導入際してSMRは、担当者を1名を指名し、各国の拠点管理者と一緒に、新しいQMSの紹介と立ち上げを行いました。

その後、設定作業と、パラメータ調整が行われ、トレーニングを実施したのち、システム稼働前にテストと細かい最終調整が行われ、システムが立ち上がったところで、担当者は次の拠点に移動していきました。

QMS導入のフェーズ1では、書類管理(Document Control)とCAPA(Corrective Action, Preventative Action)とクレーム処理の機能が導入されました。

“出張インプリメンテーションは私たちにとっては非常にうまくいきました。次のフェーズ2では5~6週間ほどを見ながら、同じ方法で導入していこうと考えています。”



導入フェーズ2の対象は…

- APQP(Advanced Product Quality Planning)の導入により、必要な計画書類と簡素化された編集プロセスの確立
- 従業員のトレーニング管理を行い、事前にアラートをだすなど必要なトレーニングをもれなく受けられるようにする
- フェーズ1で導入したCAPAと連動した監査プロセスの導入
- 製品計画機能にInspection & SPC(Statistical Process Control)を連携し、ユーザーが編集可能な報告プロセスを確立
- SMRのサプライヤをQMSへアクセスを許可し、ステータスや書類の確認を可能に

“QAD QMSの導入はSMRにとって革命的で、今後、自信をもって未来へ歩みを進めていけそうです”とChristopheさんは付け加えます

効果: QAD QMSが一つ上の統一性、透明性、とSMRとその顧客へのアクセスをもたらしました

“すでに私たちはグローバルで進めている導入にベネフィットを感じ始めています。ただ、これも、QAD QMSとの旅路のほんの幕開けにすぎません”とChristopheさんは言います。

SMRですでに認識されている効果は…

- 全世界の関連書類が全て集約化された
- 不適合のレポートが出てから、クローズまでの期間が、最低でも2ヶ月かかっていたものが1-2週間で完了するようになった
- 重複タスクの削減 - QAD QMSを通じて全世界とコミュニケーションを取ることで、時間とお金の無駄を削減
- サプライチェーンの可視性を改善し、再発防止策やトレーニング、書類管理や緊急時対応計画などのリスクマネジメントを改善
- 標準化されたプロセスをグローバルの各拠点で導入することにより、品質の安定性が改善し、顧客満足度が向上

最後に“QAD QMSを選んで正解でした”とChristopheさんは付け加えました。

“Having a global QMS system is a must to compete in the global marketplace. Having the experience and support of QAD behind it ensures its effectiveness.”

Christophe Sib, Director, Global ERP and Quality Management Systems

“グローバルマーケットで競争する企業にグローバルで統一されたQMSシステムの導入は必要不可欠です。

QADの経験とサポートがあれば、その効果は必ず出ると思います。”

SMR社 グローバルERP & クオリティマネジメントシステム
ディレクター Christophe Sib

